

SPANCRETE
CORPORATION

株式会社スパンクリートコーポレーション

会社説明会

2009年6月24日



(株)スパンクリートコーポレーション



会社概要及び沿革

< 会社概要 >

本 社	東京都文京区本郷四丁目 9 番 2 5 号
営業所	宇都宮営業所 仙台営業所
工 場	宇都宮工場 岩瀬工場
設 立	1 9 6 3 年 3 月
資本金	3 2 億 9 , 5 8 9 万 3 , 0 0 0 円
従業員	1 4 0 名 (外 派遣社員 5 7 名)
事業内容	スパンクリート事業 不動産事業

< 沿 革 >

6 3 年 3 月	設立 資本金 1 千万円 商号 スパンクリート製造株式会社
6 4 年 2 月	宇都宮市に生産設備完成 営業開始
8 3 年 3 月	スパンクリート合成床工法 販売開始
8 9 年 1 1 月	茨城県岩瀬町 (現 桜川市) に岩瀬工場完成
9 1 年 2 月	社名を現社名に変更
9 1 年 9 月	株式を公開日本証券業協会店頭登録 (J A S D A Q)
0 4 年 3 月	明星プレテック(株)の株式を 1 0 0 % 取得
0 5 年 5 月	宇都宮工場・岩瀬工場・設計部 I S O 9 0 0 1 取得
0 6 年 3 月	プレテック(株)解散
1 0 月	普通株式 1 株を 2 株に分割

(株)スパンクリートコーポレーション



工場

宇都宮工場

生産能力 約50,000m²/月 (18,608坪)



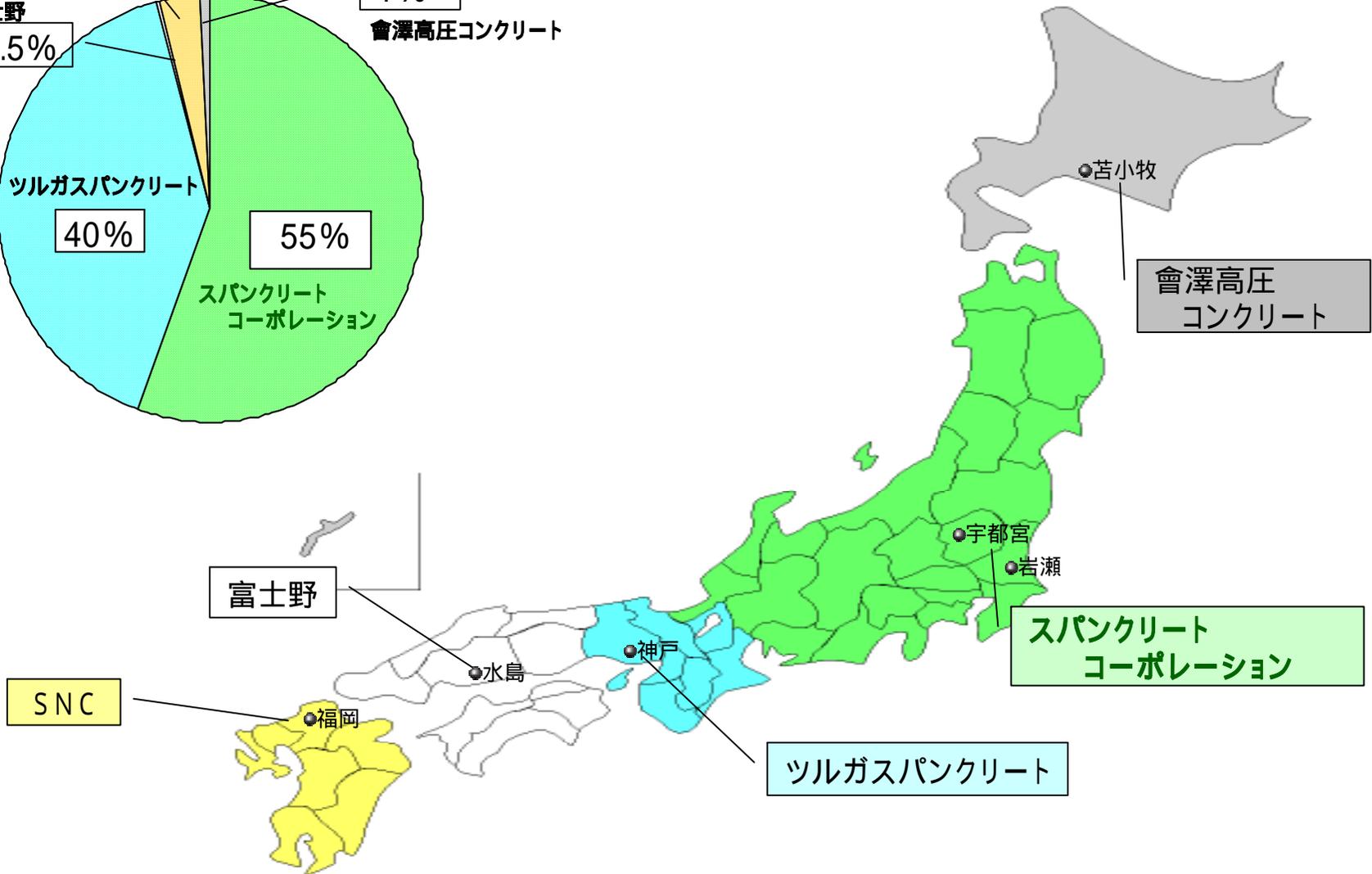
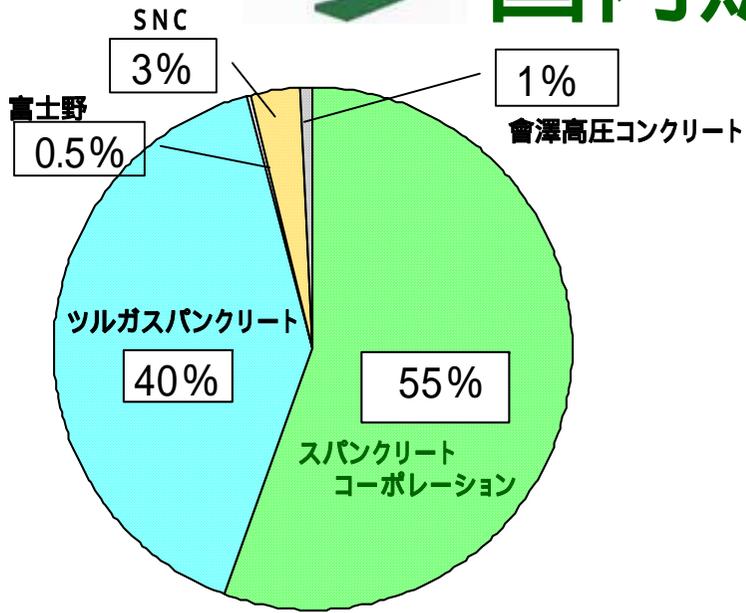
岩瀬工場

生産能力 約12,000m²/月 (19,638坪)





国内販売量比較



スパンクリート製品概要



(株)スパンクリートコーポレーション



スパンクリート製品



(株)スパンクリートコーポレーション



スパンクリート生産

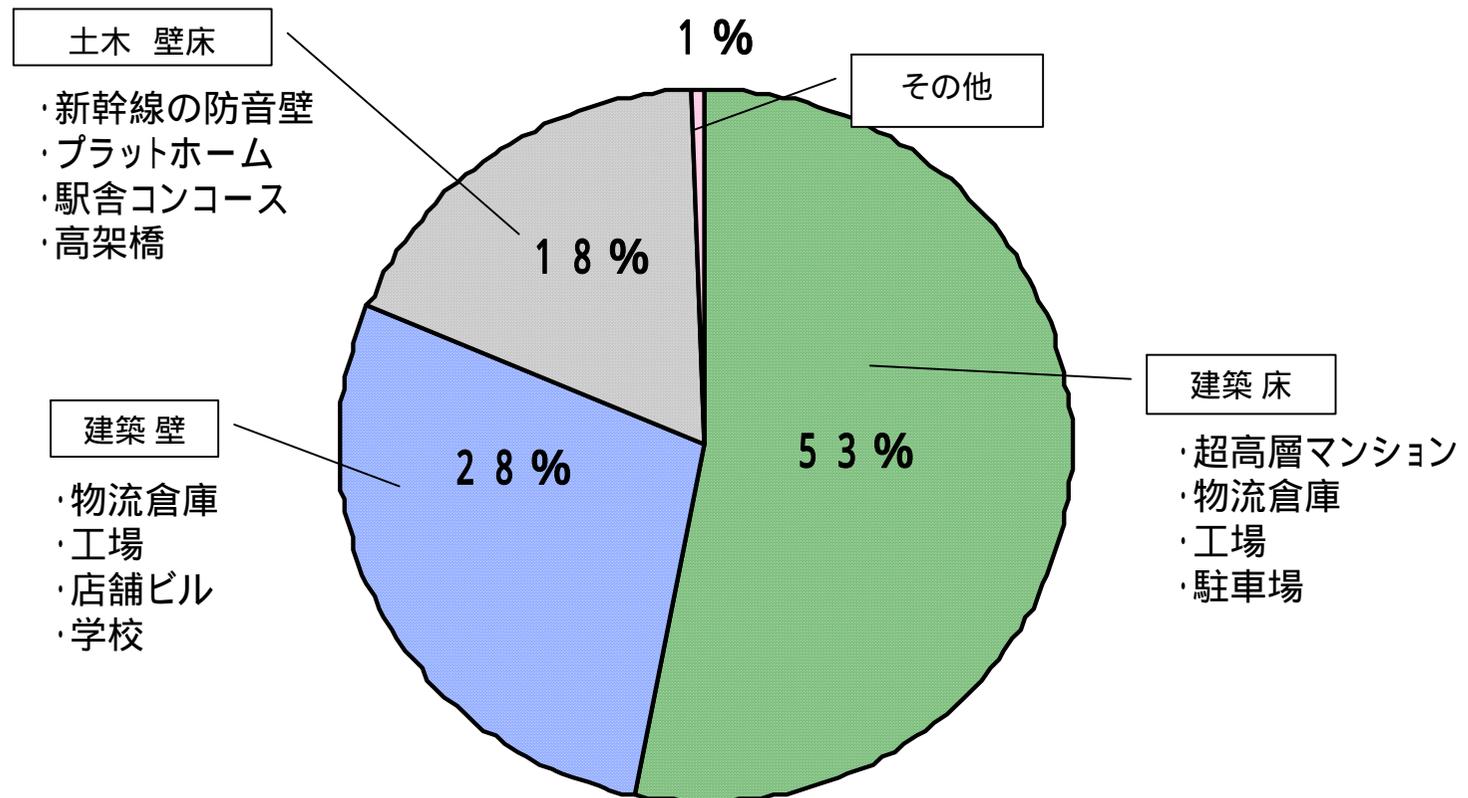


(株)スパンクリートコーポレーション



スパンクリートの主な用途

用途比率(数量)

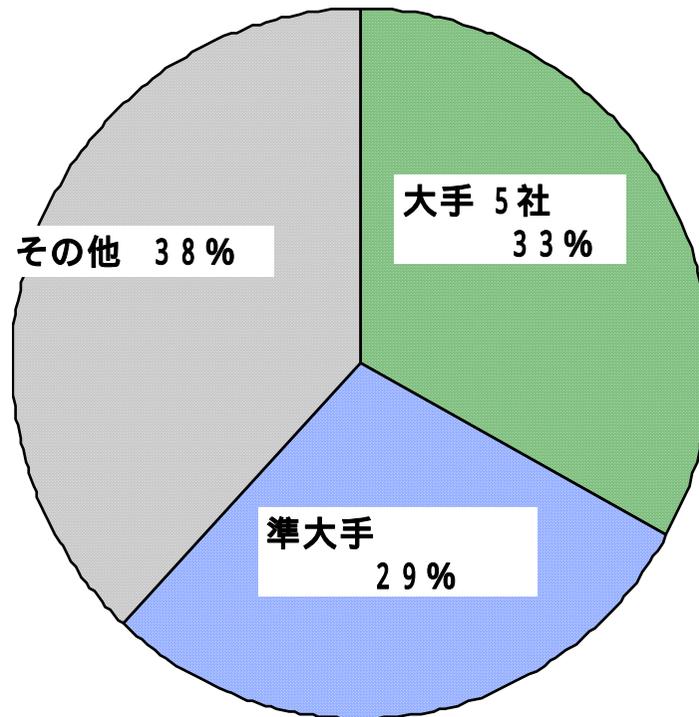




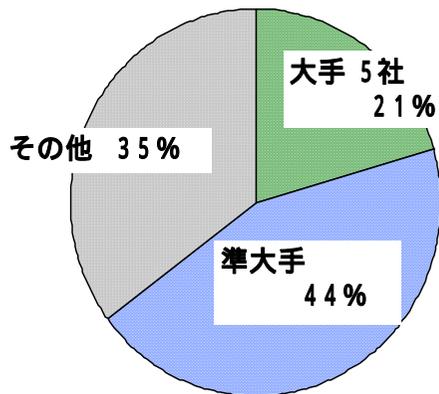
スパンクリートの主な販売先 (建設会社)

- ・鹿島建設(株)
- ・清水建設(株)
- ・大成建設(株)
- ・(株)大林組
- ・(株)竹中工務店
- ・前田建設工業(株)
- ・三井住友建設(株)
- ・戸田建設(株)
- ・西松建設(株)
- ・五洋建設(株)
- ・(株)銭高組
- ・(株)奥村組
- ・大和ハウス工業(株)
- ・鉄建建設(株)

他



47期実績ベース



46期実績ベース



スパンクリートの工事

床板の工事



壁板の工事





大型マンションの実績



プラウドシティ練馬



市川駅南口地区
第一種再開発事業A・B街区



クレッセント川崎タワー



CHIBA CENTRAL TOWER



スパンクリート使用例 外壁

月島倉庫



東京都中央区

JAIみず野小杉低温倉庫



富山県射水市



スパンクリート使用例 外壁

茨城県信用組合
ローンセンタークレオパトラ



茨城県水戸市

東横イン敦賀駅前



福井県敦賀市

県立前橋商業高等学校



群馬県前橋市



スパンクリート使用例防音壁



東北新幹線 膝森付近



北陸新幹線 金沢駅付近



九州新幹線 緑川付近



成田新高速鉄道 印旛沼付近

(株)スパンクリートコーポレーション



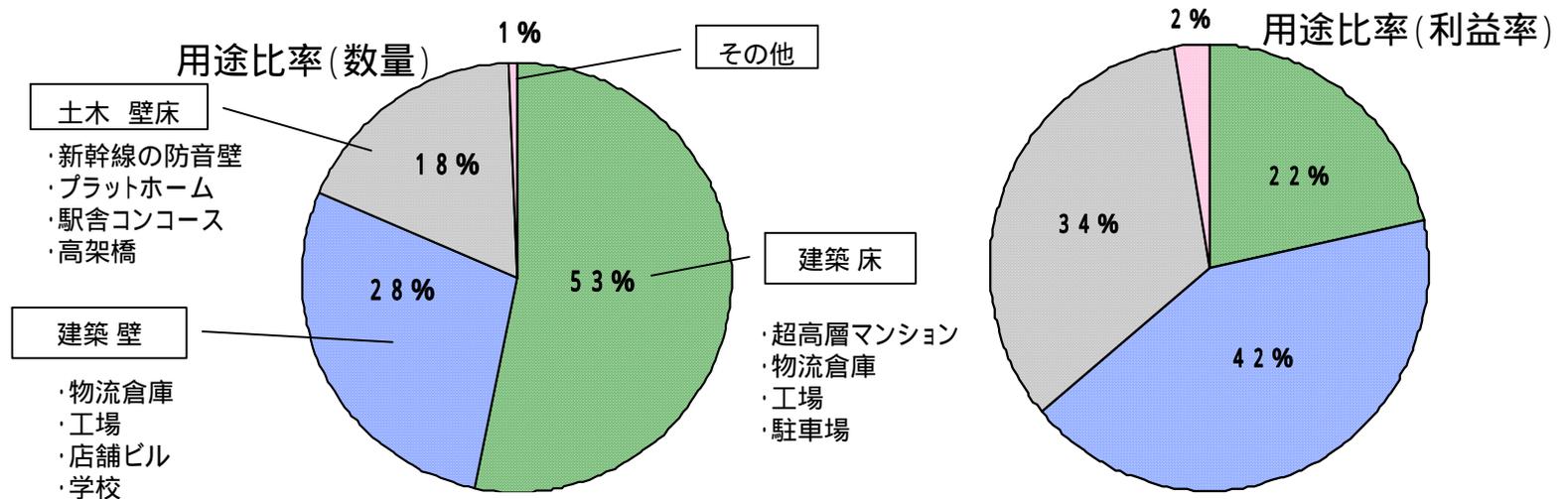
スパンクリート販売戦略

壁板の増販

新幹線の防音壁の确实受注

集合住宅の安定受注体制の構築

新製品の開発と拡販



(株)スパンクリートコーポレーション



壁板増販のための戦術

他部材と比較してコスト高というイメージの払拭

大型倉庫をターゲットに
スケールメリットを生かす

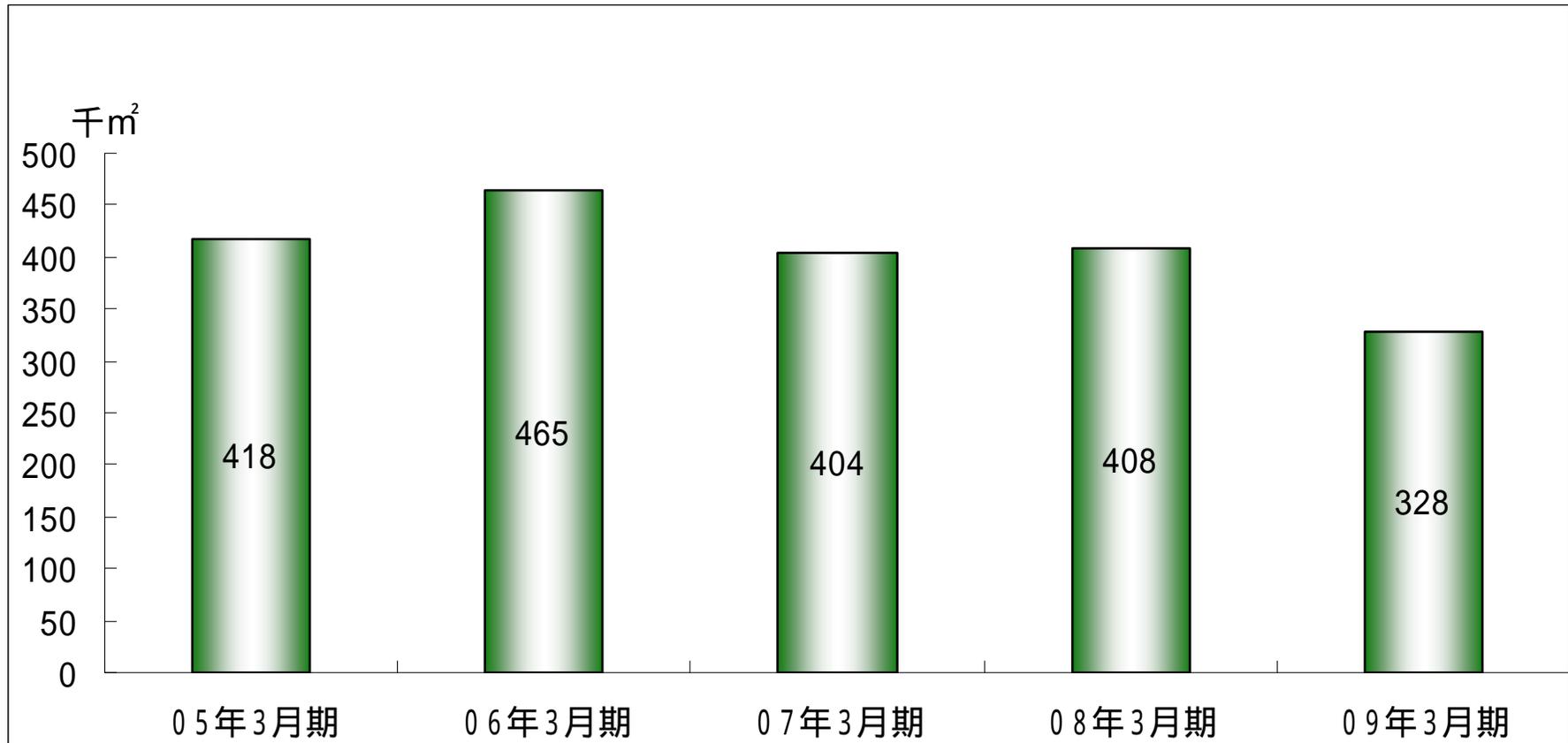
ワイドパネル(幅広板)を
優先的に折り込む



西町運輸倉庫(株)岩槻配送センター



スパンクリート集合住宅受注の推移





新製品の開発とその後の展開

ワイドパネル



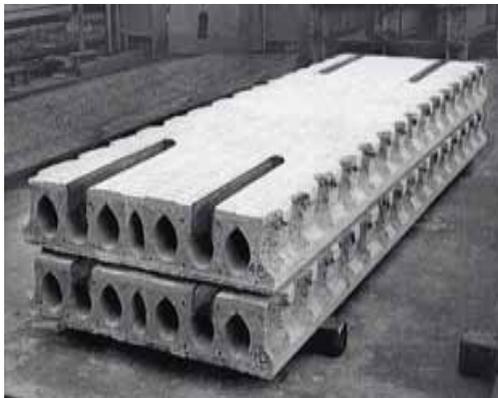
Mスラブ



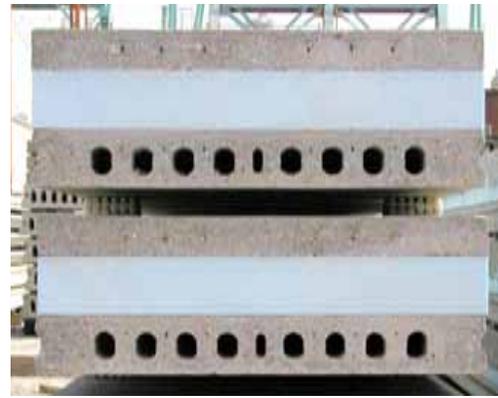
トンネル天井パネル



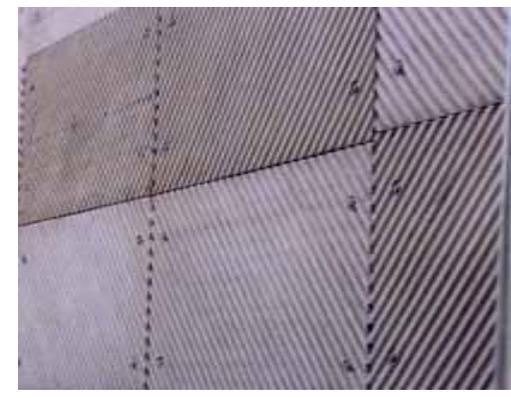
Jスラブ



外断熱パネル



デザインパネル





新製品の開発とその後の展開

ワイドパネル(特長・・・従来の2倍の大きさのため施工スピードが早く工期短縮)

現在の施工状況



(厚さ120m/m)



軽量化
(厚さを薄くする)



(厚さ100m/m)



京儀倉庫



ラウンドヒルキャピタルパートナーズ東扇島



CRE市川物流センター



新製品の開発とその後の展開

Mスラブ (特長・・・鉄筋を入れ強度が大幅にアップしたスパンクリート板)
ホームドア設置駅



東急東横線 元住吉駅



成田新高速鉄道 京成日暮里駅

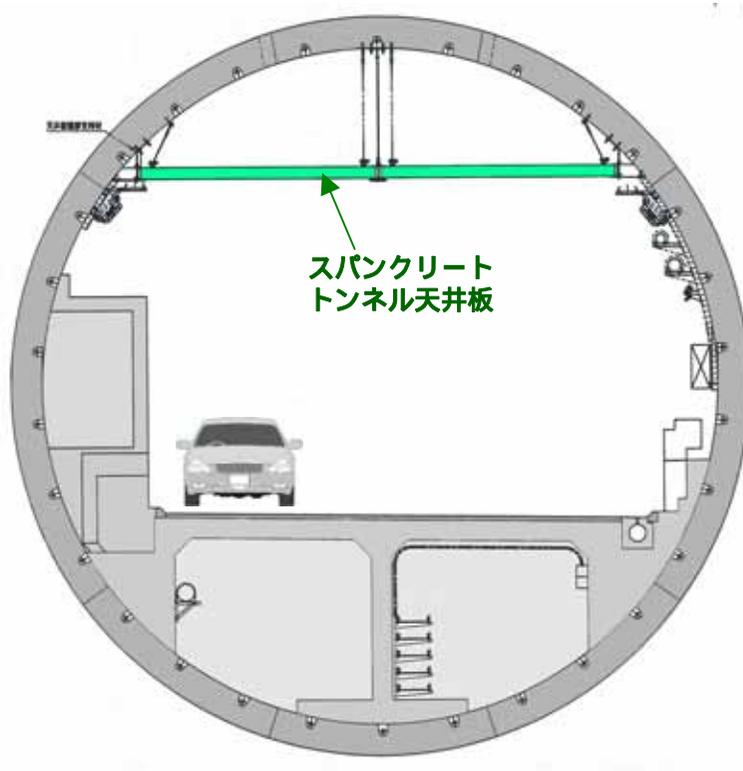
(株)スパンクリートコーポレーション



新製品の開発とその後の展開

道路トンネル用天井パネル

(STCパネル・・・トンネル火災時の爆裂防止対策パネル)



関門トンネル



夢咲トンネル

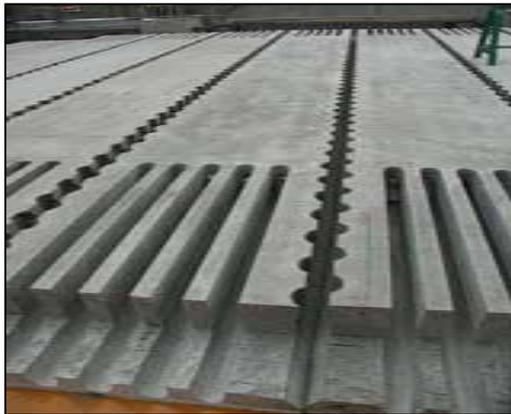


新製品の開発とその後の展開

Jスラブ工法 (特長・・・現場での床のコンクリート打設が不要のため工期短縮)

これまでの工法
(平成15年8月特許取得)

スリットタイプ



改良工法
(平成19年9月特許取得)

定着板タイプ



現場作業の工程短縮



リガーレ日本橋人形町
平成20年3月竣工

(株)スパンクリートコーポレーション



新製品の開発とその後の展開

外断熱パネル (特長・・・コンクリートと断熱材(ポリエチレン)の一体成型板)

デザインパネル (特長・・・自由な意匠が可能)

外断熱パネル



デザインパネル



→
一体化



日本大学文理学部 図書館棟

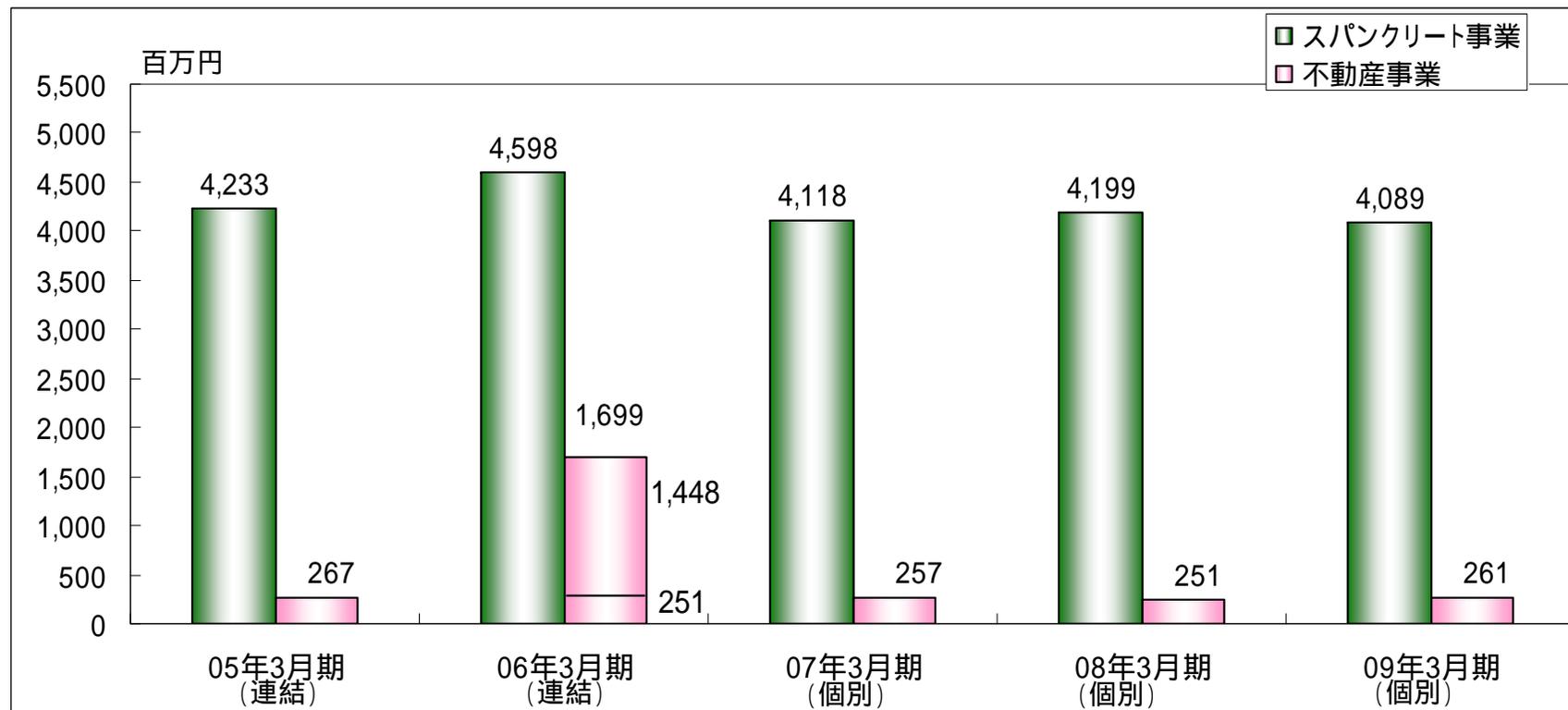
業績概況



(株)スパンクリートコーポレーション



事業のセグメント売上高





事業別概況

単位:百万円

		08年3月期		09年3月期		%
		上期	通期	上期	通期	
スパンクリート事業	売上高	2,134	4,199	1,972	4,089	94
	営業損益	52	86	53	78	36
不動産事業	売上高	126	251	129	261	6
	営業損益	70	137	68	138	64
その他共合計	売上高	2,260	4,450	2,101	4,350	100
	営業損益	117	213	116	206	100

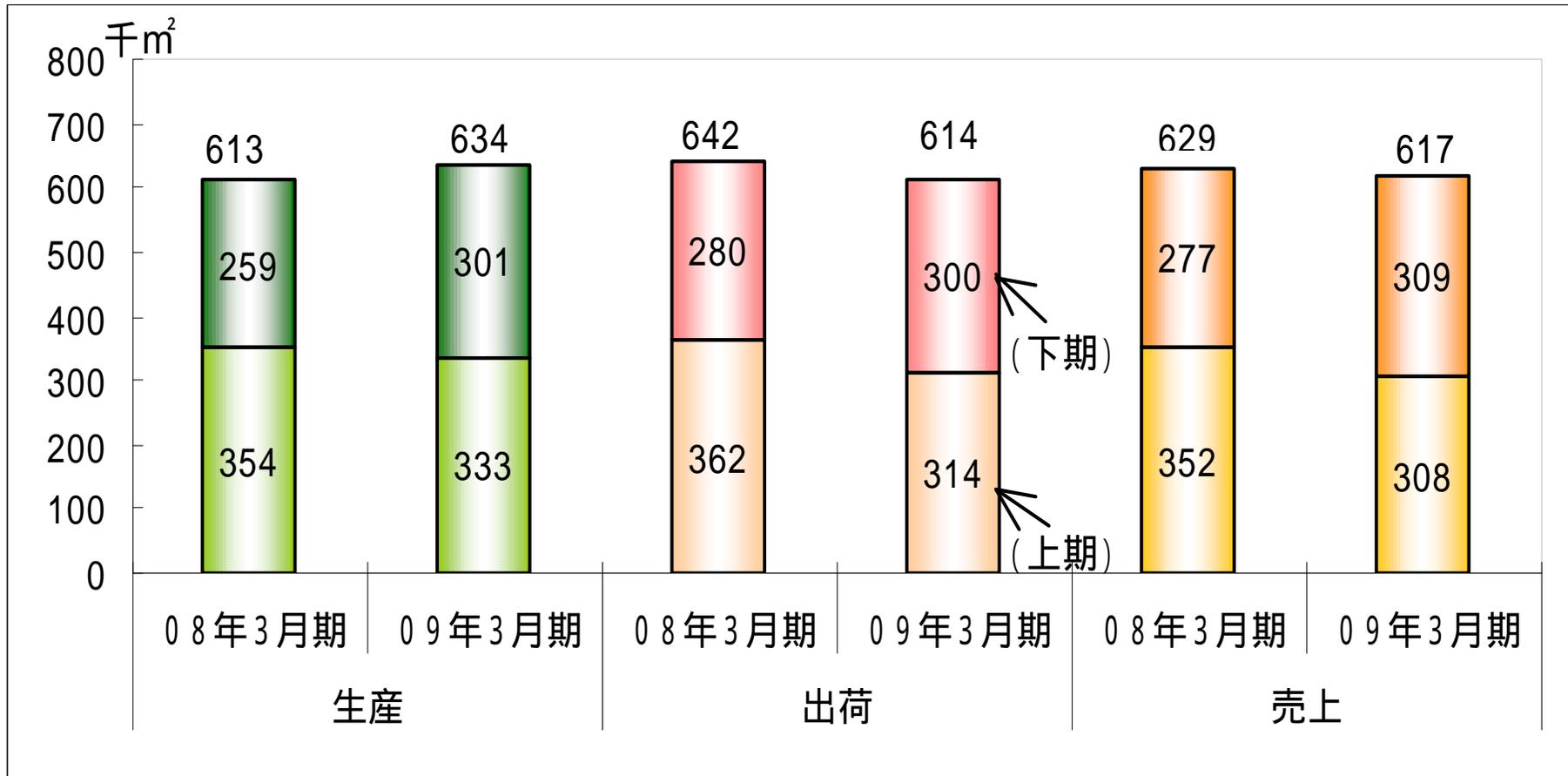
スパンクリート事業



(株)スパンクリートコーポレーション



スパンクリート生産・出荷・売上 数量比較



不動産事業



(株)スパンクリートコーポレーション



所有賃貸ビル

台東区
台東オリエントビル



8階建 1,466.4㎡

新宿区
30山京ビル



8階建 1,887.1㎡

文京区
駒込スパンクリートビル

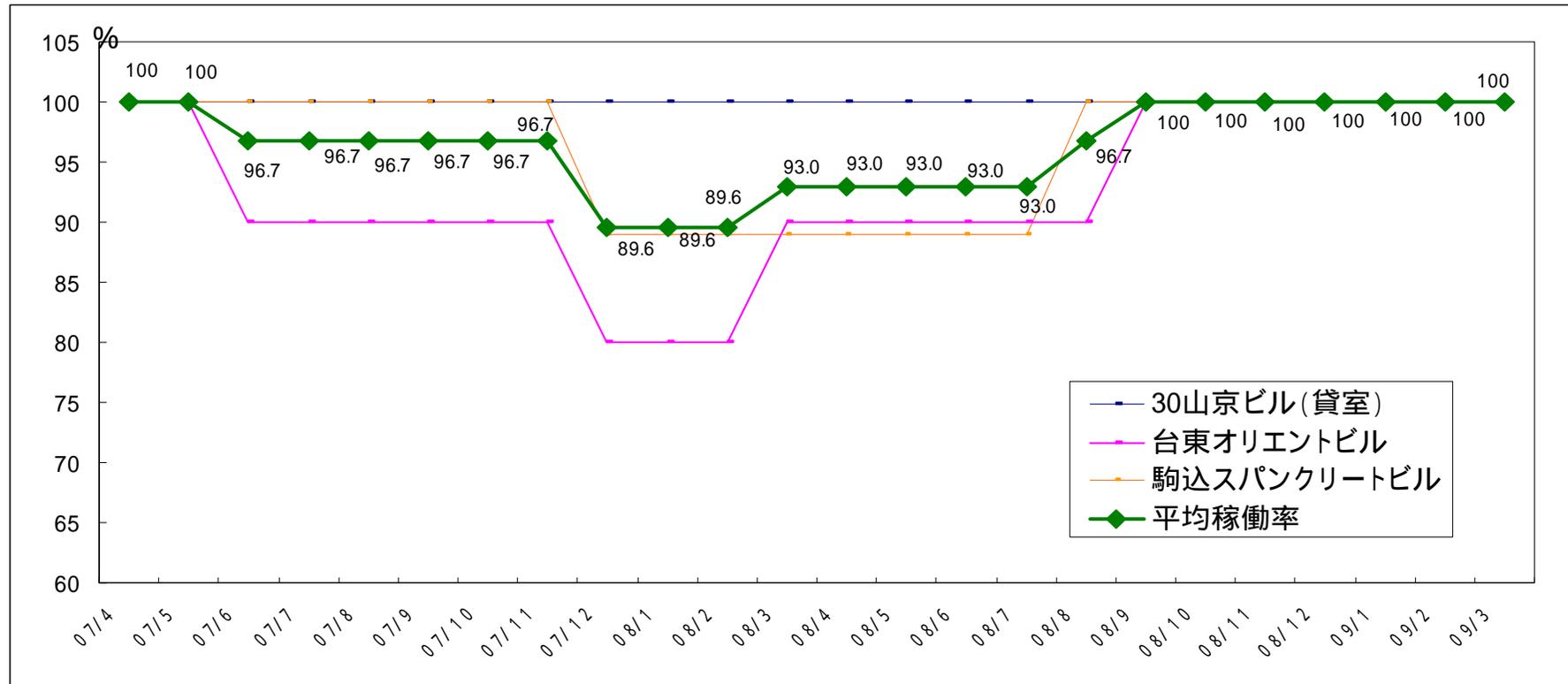


9階建 1,621.5㎡

(株)スパンクリートコーポレーション

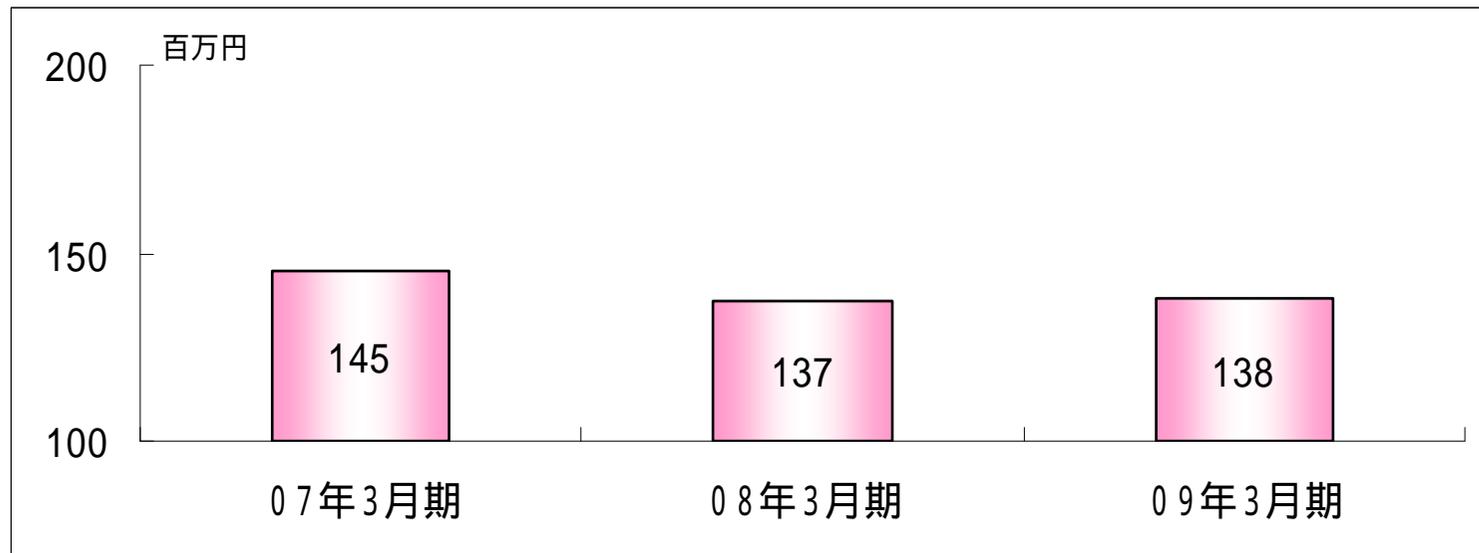


所有賃貸ビル(3棟)平均稼働率





不動産事業利益実績



賃貸ビル3棟の投資利回り	6.5%	6.4%	6.7%
賃貸ビル3棟の 簿価に対する利回り	10.1%	9.7%	10.4%

財務状況



(株)スパンクリートコーポレーション



比較貸借対照表 <資産の部>

単位:百万円

	08年3月期	09年3月期	増減	摘要
流動資産	3,983	3,860	123	
現金及び預金	1,917	1,587	330	
売掛債権	1,197	1,315	118	
有価証券	545	588	43	
たな卸資産	153	158	5	
未成工事支出金	109	128	19	
その他	60	81	21	
固定資産	6,500	5,868	632	
有形固定資産	4,669	4,560	109	
建物・機械	1,547	1,458	89	設備投資72 減価償却費 156
土地	3,114	3,099	15	赤羽社宅跡地の減損
その他	6	1	5	建設仮勘定
無形固定資産	23	12	11	設備投資5 減価償却費 16
投資その他	1,808	1,296	512	
投資有価証券	1,543	1,057	486	売却および時価の下落等で減少
その他	264	238	26	
資産合計	10,483	9,728	755	

(株)スパンクリートコーポレーション



比較貸借対照表<負債の部>

単位:百万円

	08年3月期	09年3月期	増減	摘要
流動負債	1,671	1,547	124	
買掛債務	222	255	33	支払手形は発行していません
短期借入金 (1年内返済長期借入金含む)	1,000	875	125	短期借入金800 長期借入金 75
未払費用・未払金	182	287	105	
未成工事受入金	112	54	58	
その他	154	75	79	
固定負債	972	816	156	
長期借入金	75	0	75	
長期未払金	100	12	88	
再評価に係る繰延税金負債	693	693	0	
その他固定負債	103	109	6	
負債合計	2,644	2,363	281	



比較貸借対照表<純資産の部>

単位:百万円

	08年3月期	09年3月期	増減	摘要
純資産の部	7,839	7,365	474	
株主資本	8,102	7,460	642	
資本金	3,295	3,295	0	
資本剰余金	3,710	3,710	0	
利益剰余金	1,373	772	601	配当 63 損失 225 土地再評価差額金取崩 312
自己株式	277	317	40	取得 187千株
評価・換算差額等	263	95	168	
有価証券評価差額金	28	173	145	含み損 173 (前々期含み益 505)
土地再評価差額金	234	77	312	取崩 312
負債・純資産合計	10,483	9,728	755	

・自己資本比率 74.8% 75.7%



比較損益計算書

単位:百万円

	08年3月期	09年3月期	増減	摘要
売上高	4,450	4,350	100	スパンクリート事業 110減収 不動産事業 10増収
売上原価	3,655	3,571	84	
一般管理販売費	581	572	9	
営業利益	213	206	7	スパンクリート事業 8減益 不動産事業 1増益
営業外収益	150	109	41	
営業外費用	64	45	19	
経常利益	299	270	29	
特別損益	55	503	448	投資有価証券の評価損 395 固定資産除却損 16外
税引前当期純利益	244	233	477	
法人税・住民税	131	12	119	
法人税等調整額	16	20	4	
当期純利益	128	225	353	



株主資本等変動計算書

単位:百万円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前期末残高	3,295	3,710	1,373	277	8,102
剰余金の配当			63		63
土地再評価差額金の取崩			312		312
当期純損失			225		225
自己株式の取得				40	40
変動額合計			601	40	641
当期末残高	3,295	3,710	772	317	7,460

	純資産		
	有価証券評価差額金	土地評価差額金	純資産合計
前期末残高	28	234	7,839
株主資本の変動額			641
株主資本以外の変動額	144	312	167
変動額合計	144	312	474
当期末残高	173	77	7,365



同業(コンクリート二次製品)他社比較

	当 社	F 社	N 社	T 社	上場会社13社 平均
	JASDAQ	大証二部	大証二部	JASDAQ	
売上高(百万円)	4,350	22,672	17,756	12,475	15,295
営業利益(百万円)	206	1,314	246	409	50
経常利益(百万円)	270	1,323	200	273	29
当期純利益(百万円)	225	1,661	51	151	162
総資産(百万円)	9,728	23,979	20,700	17,003	17,470
純資産(百万円)	7,365	3,740	7,687	6,261	5,883
現金同等物残高(百万円)	1,873	2,922	1,487	1,720	1,088
自己資本当期純利益率(%)	3.0	35.9	0.7	2.4	3.9
総資産経常利益率(%)	2.7	5.8	1.0	1.7	0.4
売上高営業利益率(%)	4.8	5.8	1.4	3.3	1.1
自己資本比率(%)	75.7	15.6	37.1	36.8	30.6
1株当たり純資産(円・銭)	913.11	210.94	329.34	714.22	383.11
1株当たり配当金(円)	4	無配	2	10	4社無配
期末株価(円)	210	55	155	131	112
PBR	0.23	0.26	0.47	0.18	0.29

(株)スパンクリートコーポレーション

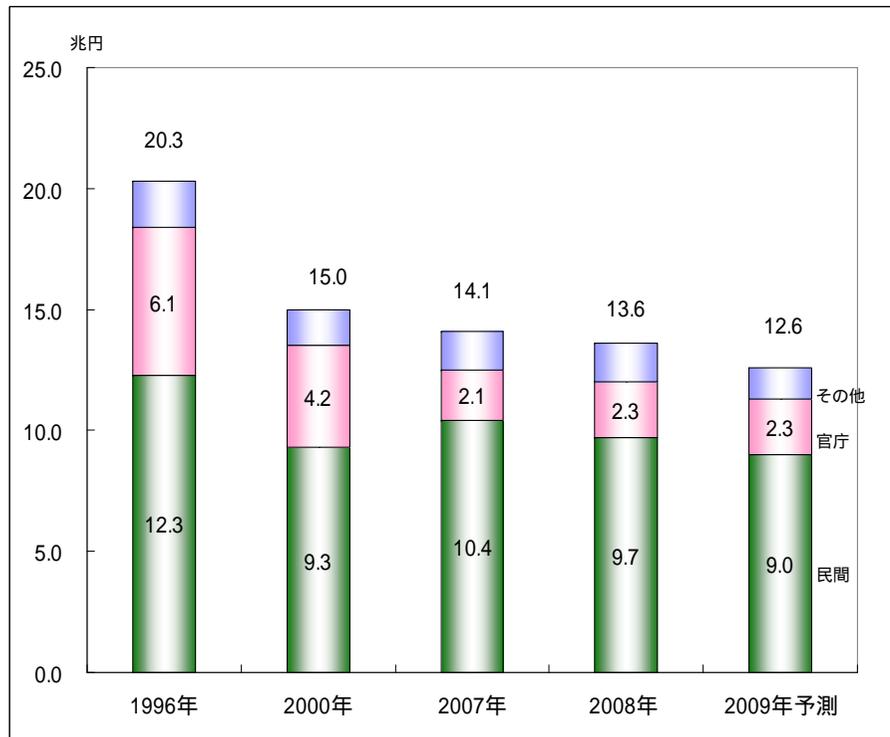
当社を取り巻く環境



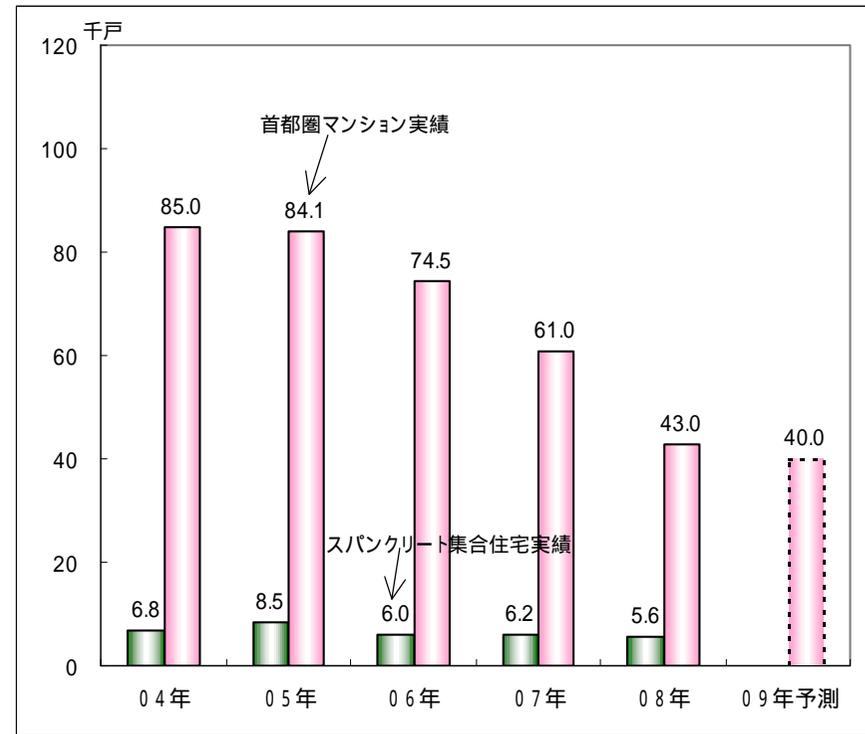
(株)スパンクリートコーポレーション



大手50社建設工事受注高推移

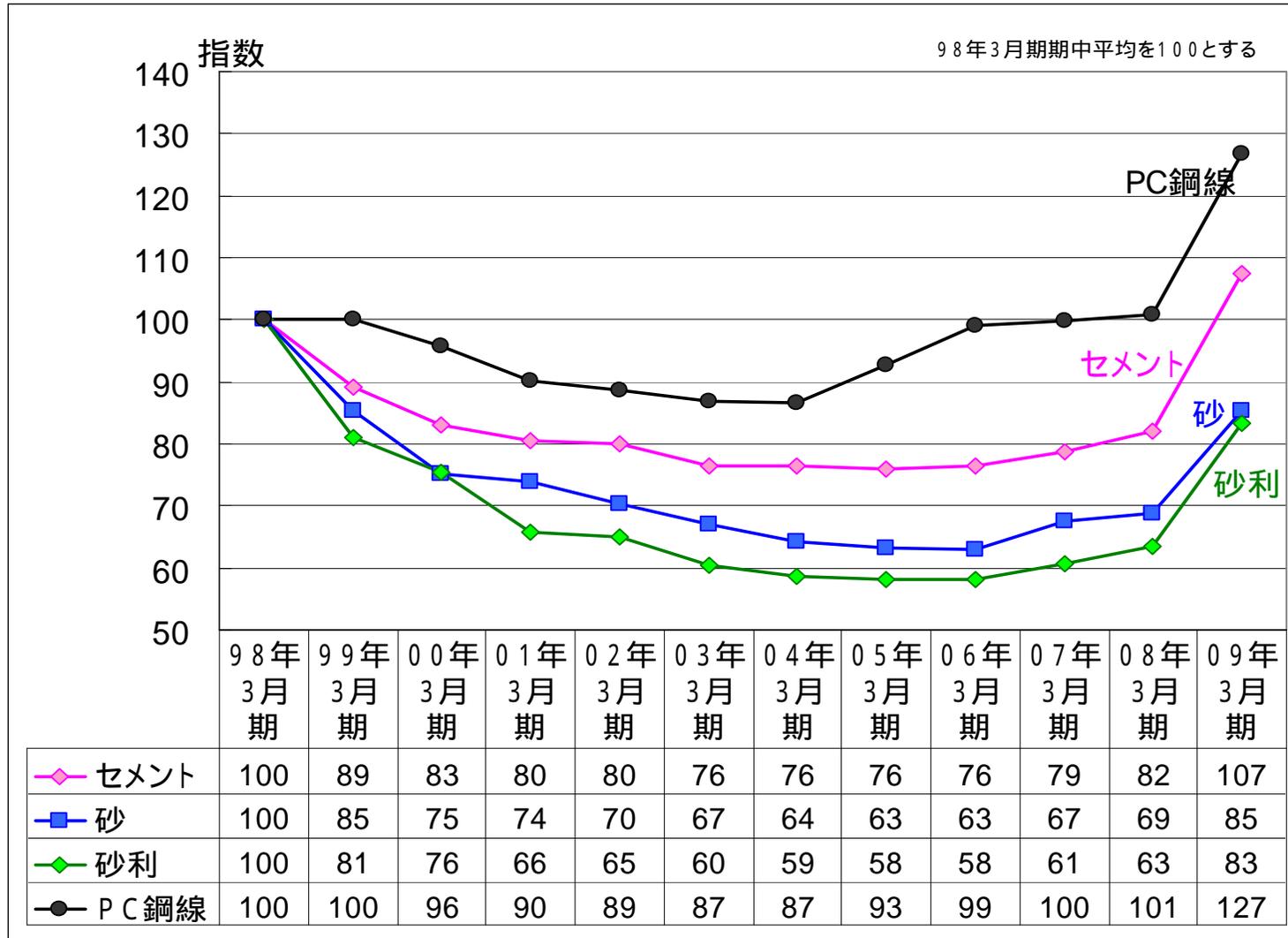


首都圏マンションの供給推移と予測





原材料購入単価指数推移





前回不況(90年代)と今次不況との比較

	前回(90年代)不況	今次不況
不況の範囲	バブルの崩壊による国内不況 (10年以上の長期不況)	米国を引き金とした世界不況 (深度と期間不透明)
建設需要	民間需要(工場、倉庫等)は漸減 (10年間で1/2に) 公共工事が一時下支え 新幹線プロジェクトは谷間 首都圏マンション需要のみ堅調 (40千戸/年~80千戸/年)	民間需要は今後急減少予想 (計画の延期、中止) 公共工事は漸減(政策テコ入れ期待?) 新幹線は北陸を中心にある程度期待 マンション需要は急減 (80千戸/年 40千戸/年)
当社出荷売上数量	ピーク60千m ² /月(92年度)から ボトム30千m ² /月(98年度)へ減少	2008年度51千m ² /月から2009年度 30千m ² /月へ減少見込、2010年度は不透明
当社販売価格	原材料価格を上回るスピードで下落	当面横這いながら今後引き下げ圧力
当社原材料価格	なだらかな下落	2008年度急騰後高止まり (セメント・砂・砂利は更に値上げの動き)
雇用構成	本社、工場とも大半は社員 (構えの調整遅れ)	本社は大半が社員、工場の社員比率は 6割程度(構えの調整はある程度可能、 但し一部の派遣社員は不可欠の戦力)
新製品開発動向	大半が試作段階	一部戦力化、引き続き努力の要



景気が大幅に悪化、建設需要も大きく減退する中、原材料費は高止まったままで、極めて厳しい経営局面が到来。しかも長期化必至。

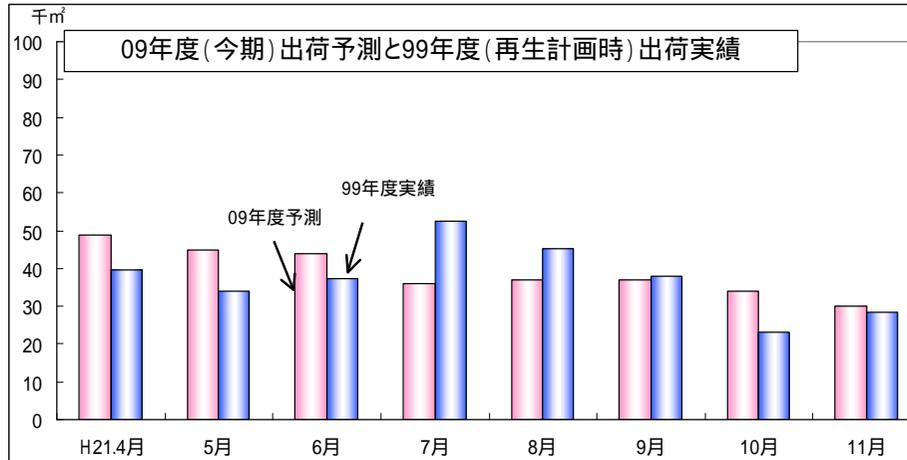
10年前の再生計画時の環境に酷似。(あるいはそれ以上の危機となるリスクも)
構えの迅速な調整の要

新幹線の防音壁が受注面で下支え(向こう3~4年70千 m^2)。

新製品の商品化に一部成功、今後の戦力化に努力の要。



受注見通しと損益分岐点



09年度予測	月次 30 ~ 35千㎡
99年度実績	月次 35千㎡

< 実績 >

再生計画時	99年度の損益分岐点数量	32千㎡ / 月	(35千㎡ / 月)
06年度	52千㎡ / 月	(54千㎡ / 月)	
07年度	50千㎡ / 月	(52千㎡ / 月)	
08年度	49千㎡ / 月	(51千㎡ / 月)	

今期の出荷予測 第2四半期以降30千㎡ / 月 構えの縮小、損益分岐点引き下げ



取り組むべき課題

減収(数量減)でも利益の出る体制の構築(月産30千㎡体制)。

営業粗利益率の向上

- ・付加価値の高い新製品の拡販
- ・利益率の高い壁板の拡販(壁は合成床の3倍)

本社費のスリム化

- ・人員の削減(工場への配置転換 工場のフレキシブルな雇用体制を利用)
(雇用調整助成金の活用 本社・工場とも一時帰休の実施)

・聖域のない経費削減

製造コストの引き下げ

- ・最適生産効率の追求(工場集約、一部休止)
- ・品質向上(歩留まり率向上)
- ・原材料費の引き下げ(ハードネゴ)
- ・NPSの活用(リードタイム短縮、生産性向上、段替え時間の短縮、etc)



10年3月期見通し

単位:百万円

	09年3月期実績	10年3月期見通し
売上高	4,350	3,100
営業利益	206	85
経常利益	270	105
当期純利益	225	50

前述方策を総動員しても収益確保には相当の努力を要し、ハードルが高いものと認識

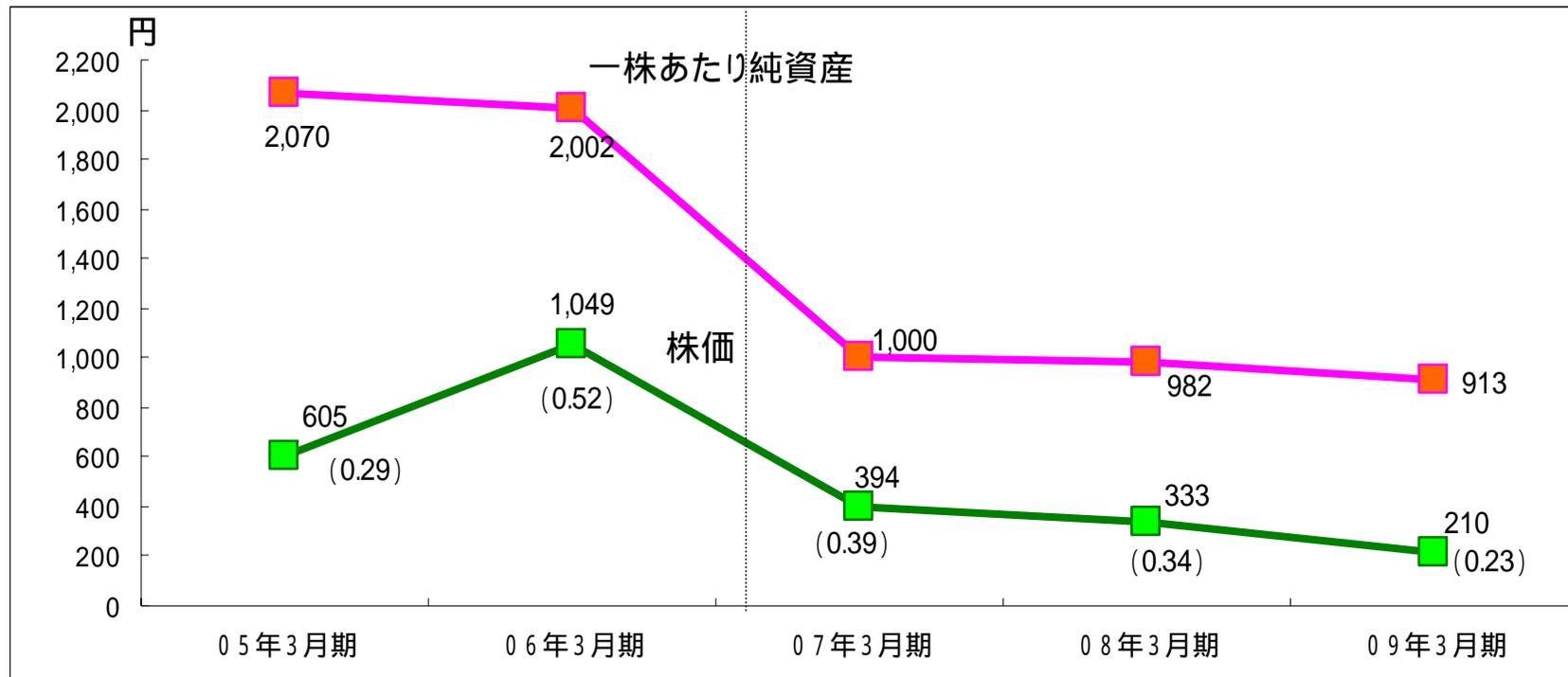
資本政策



(株)スパンクリートコーポレーション



一株あたり純資産・株価 (PBR) 推移



06年10月普通株式1株を2株に分割しました



利益配分に関する基本方針

企業体質の強化と今後の事業展開への備えを図りつつ、業績及び配当性向等を総合的に勘案し、安定的・継続的な配当を実施する

配当状況

	1株当たり配当金(円)	配当性向(%)
02年3月期	6	166.2
03年3月期	8	32.7
04年3月期	8	16.2
05年3月期	10	50.2
06年3月期	12	29.1
07年3月期	8	40.8
08年3月期	8	50.1
09年3月期	4	-

06年10月1日付で1株を2株に分割

(株)スパンクリートコーポレーション



資本政策の推移

《自己株式の消却》

2000年度～2003年度	1,588千株	482百万円
---------------	---------	--------

《自己株式の取得》

2004年6月～2008年3月	755千株	669百万円
-----------------	-------	--------

2008年7月～2009年3月	187千株	40百万円
-----------------	-------	-------

《自己株式の処分》

2007年2月	363千株	137百万円
---------	-------	--------

2009年5月	176千株	32百万円
---------	-------	-------

《1単元株式数の引き下げ》

2005年11月1日付で1,000株を100株に変更

《株式分割》

2006年10月1日付で1株を2株に分割

ご清聴ありがとうございました



(株)スパンクリートコーポレーション